

令和4年7月定例記者会見要旨(令和4年6月30日)

1. 8月に開催予定のさかいで大橋まつりについて、感染防止対策など、具体的にどのように運営していくのか。また、さかいで大橋まつりを通してのにぎわいづくりについて、どのようにお考えか。

マスク着用、密集の回避、歓声をあげないなどを、ポスターやチラシ、広報誌などで周知するとともに、本部席からのアナウンスや、当日配置する職員等からも注意喚起を行う。

ただし、マスク着用については熱中症の心配もあることから、可能な限りお願いする。

また、飲食スペースでは、手指消毒液を設けて対策の徹底をお願いするとともに、大人数での会食を避けるため、机は設けない。

さらに、臨時駐車場として旧市立病院跡地や市役所など新たに約800台分を追加し、合計で約2,500台分を確保し、交通渋滞が発生しにくくなるような体制づくりに努めている。

また、当日はツイッターで駐車場の空き状況などを随時発信する。

規模を縮小しての3年ぶりの開催となるが、コロナ禍により落ち込んだ気持ちを払しょくする起爆剤となるよう、十分なコロナ対策を実施したうえで開催したい。

2. 今後の市主催イベントの開催基準をどのようにお考えか。

本市では、国や県の方針に基づいた「市民等を対象とした市主催イベントの開催基準」を定めている。国の基本的対処方針や留意事項を踏まえ、県が定めるイベント開催制限や、チェックリストの作成など、県と同様の取扱いを行い、イベントの規模によって開催の有無を判断し、開催する場合には必要な感染防止策を講じている。

具体的には、大声を出さない場合は、人と人が触れ合わない程度の間隔を確保する。大声を出す場合には、十分な人と人との間隔を確保することとし、その他にもマスクの着用、手洗い・手指消毒の徹底、換気などの基本的な感染対策を実施している。

今後の感染状況等により県が定めるイベント開催の取扱いに変更があれば、本市の開催基準も見直したいと考えている。